

05.05.16



今月の経済・金融情勢

～わが国をめぐる経済・金融の現状～

2005年5月

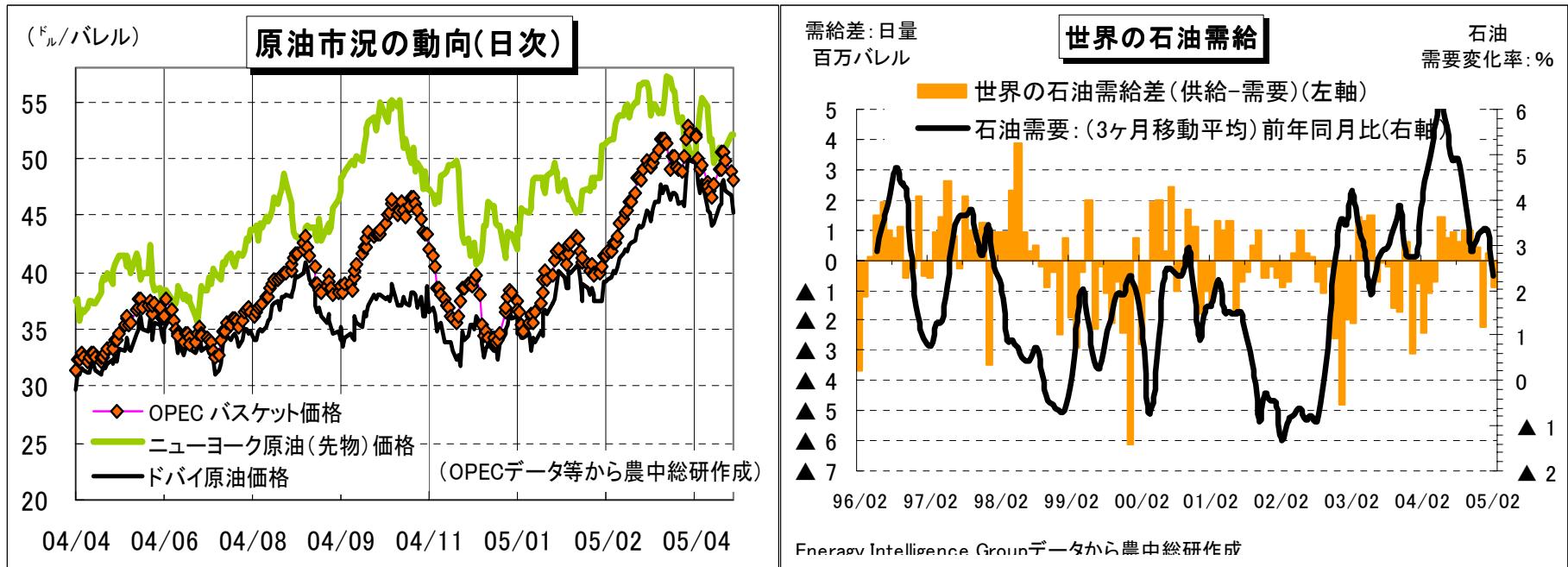
農林中金総合研究所

調査第二部 経済金融 I 班

<http://www.nochuri.co.jp/weekly/weekly.html>

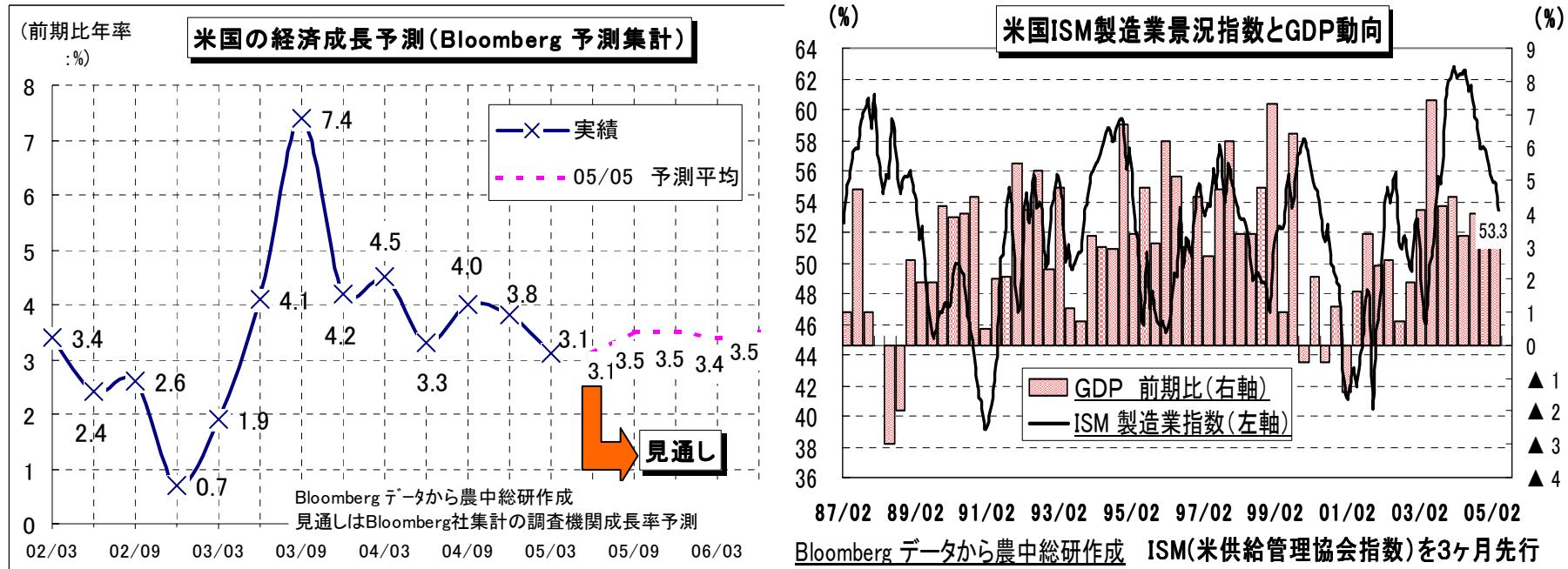
1. 原油価格は需給ひつ迫懸念等から再び高騰し、WTIは2月下旬に1バレル=50ドルを超える一時58ドル台をつけ史上最高値を更新した。しかし、米国の原油・石油製品在庫が増加したことやOPEC(石油輸出機構)が5月から増産を実施する方針を表明したことなどを受けて、4月中旬には50ドル台まで反落。その後は50ドルを前後して推移している。当面は原油生産余力が少ないと予想されるものの、一時的な投機的要素を含んだ価格高騰は修正されつつある。
2. 米国では、05年1~3月期の実質GDP成長率(速報値)が前期比年率3.1%と鈍化した。しかし5月のエコノミスト予想によれば、今後も3%台半ばの経済成長が続くと見込まれている。こうした景気拡大の持続を反映し、雇用環境の改善が続いている。米国の政策金利(フェデラルファンド・レート)は5月3日に0.25%引き上げられ3.00%になった。インフレ懸念は依然として払拭されてないが、米長期金利は4.1%台に小幅低下して推移している。
3. わが国では、10~12月期の実質GDP成長率(2次速報)が前期比+0.1%(年率+0.5%)と、3四半期ぶりの小幅プラスとなったが、景気は踊り場の局面にある。足下の生産は、電子部品・デバイス等ハイテク関連業種で生産調整の動きが続いているが、横ばい傾向で推移。また設備投資は、先行指標となる機械受注が1~3月に2四半期連続で増加したものの、先行き4~6月は減少見通し。一方、雇用環境の改善などから消費者マインドは持ち直している。なお、17日発表の1~3月期GDPは前期比実質+0.6%(年率+2.5%)の市場予想。
4. 外国為替市場では、米国の景気減速懸念や中国人民元の切り上げ観測から円高方向で推移したが、足下では円高が一服。一方、日本の長期金利の目安である新発10年国債利回りは1.2%台に小幅低下。原油・エネルギー価格の高止まりが続き企業物価が上昇しているものの、消費者物価は小幅下落をたどっている。日経平均株価は、4月中旬に一時11,000円を割った。その後は小幅反発したものの、このところ軟調に推移している。
5. 4月の政府「月例経済報告」、日銀「金融経済月報」はともに景気判断を据え置き。回復基調が続いているものの、生産面に弱い動きがあるとの見方。先行きについて、政府は、引き続き企業収益が好調で、世界経済の着実な回復に伴って、景気の回復基調は底堅く推移するとしている。また日銀も、海外経済の拡大が続き、内需も増加を続けるもとで、IT関連分野の調整の影響が弱まるにつれて、輸出や生産は増加していくとの見通し。

原油価格：高止まりが継続



- ・ニューヨーク・マーカンタイル取引所(NY MEX)の原油先物(WTI)は、世界的な需給ひっ迫懸念を背景に年明け以降再び上昇。05年2月下旬に1バレル50ドルを超える記録。その後も50ドル台付近で推移している。一方、石油輸出国機構(OPEC)は3月の定例総会で増産を決定し、5月から増産実施する方針を表明。
- ・足下では世界の石油需要は3%程度の増加を見せており(ただし3ヶ月移動平均では需給は緩和)。①中国、インドなどの非先進国の需要増加から中期的な需給引き締り観測、および②OPECの原油増産余地が縮小していること、③OPECの高めの価格政策指向などから、当面の原油価格は高止まりが予想される。

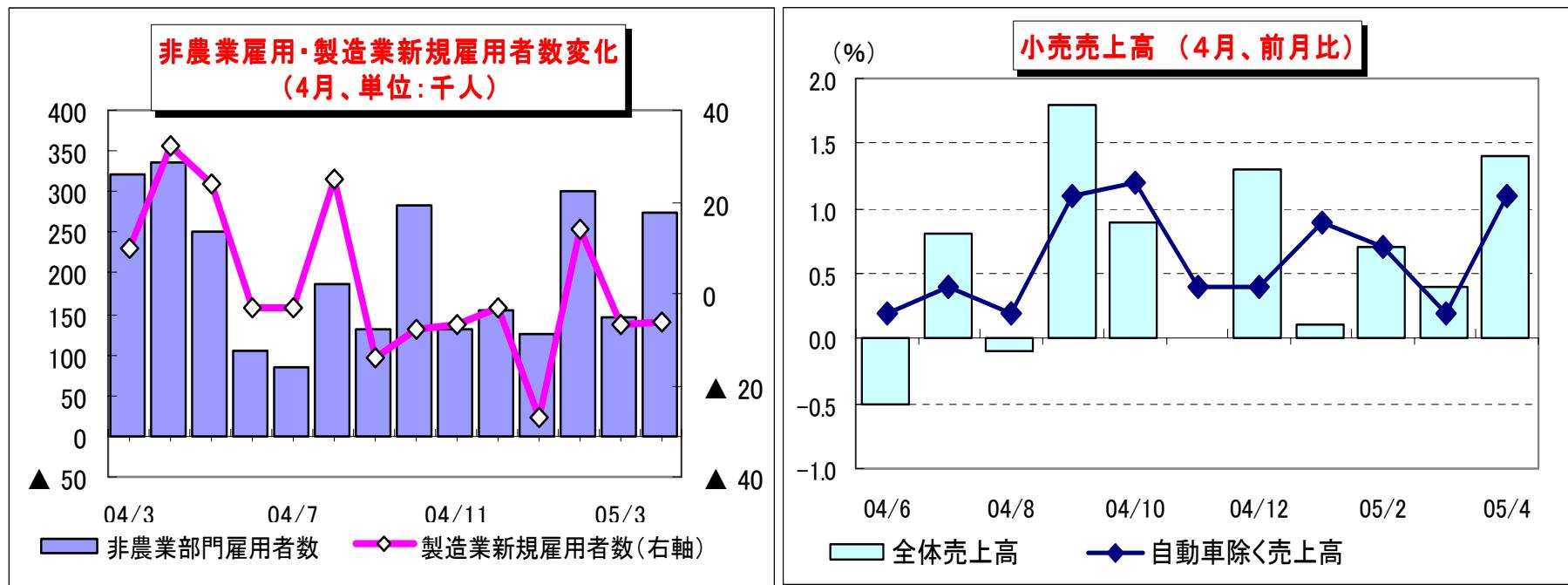
米国経済①：成長鈍化したものの、引き続き景気拡大が継続



(注)90年代後半の米国GDPの平均成長率は3.7%

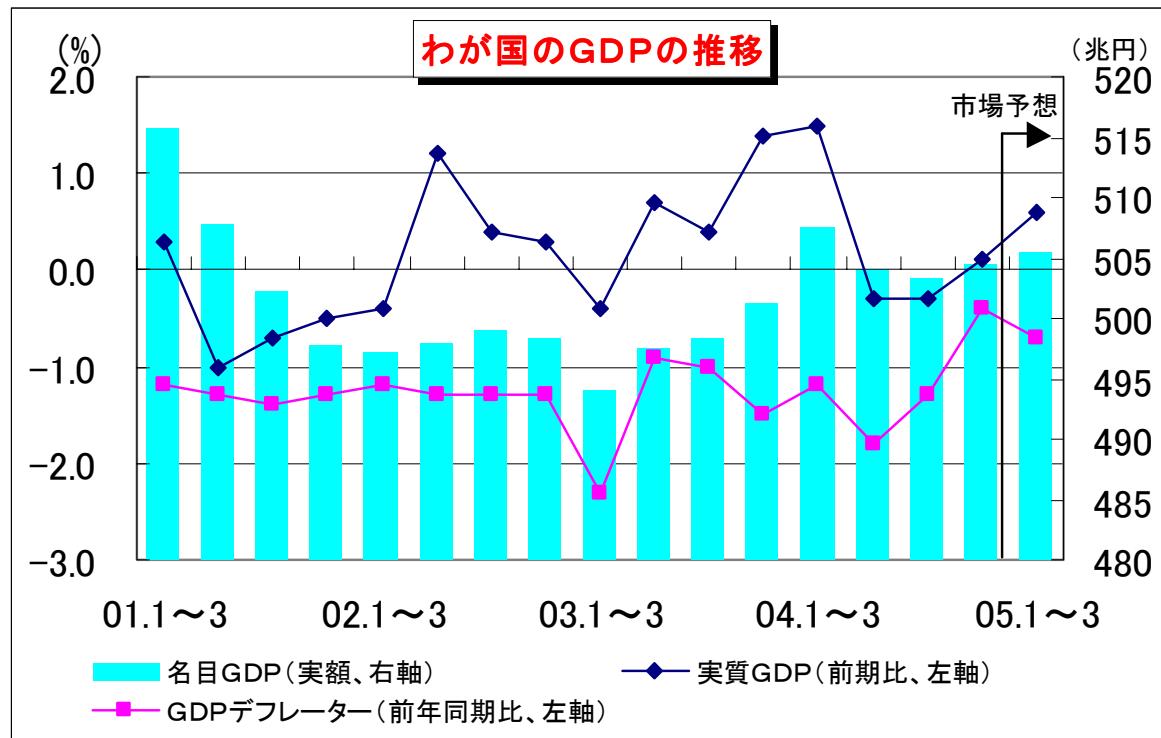
- 米国の05年1～3月期の実質GDP（速報値）は前期比年率+3.1%と成長率が鈍化。エネルギー価格上昇を背景に個人消費と民間設備投資が減速、市場予想(+3.6%)を下回った。
- 5月調査によれば米国エコノミストは、4～6月期の米国経済成長率も前年比年率+3.1%と弱めの予測(前月予想から0.5ポイント下方修正)をしているが、その後はやや持ち直し05年後半から06年にかけて3%台半ばの成長が続くと見ている。
- 代表的な企業の景況感指標であり、景気先行指標でもある「全米供給管理協会(ISM)製造業指数」は、04年1月63.6をピークに低下し、05年4月は前月から0.1ポイント低下の53.3となり、好不況の分岐点とされる50に迫りつつある。

米国経済②：雇用改善が継続



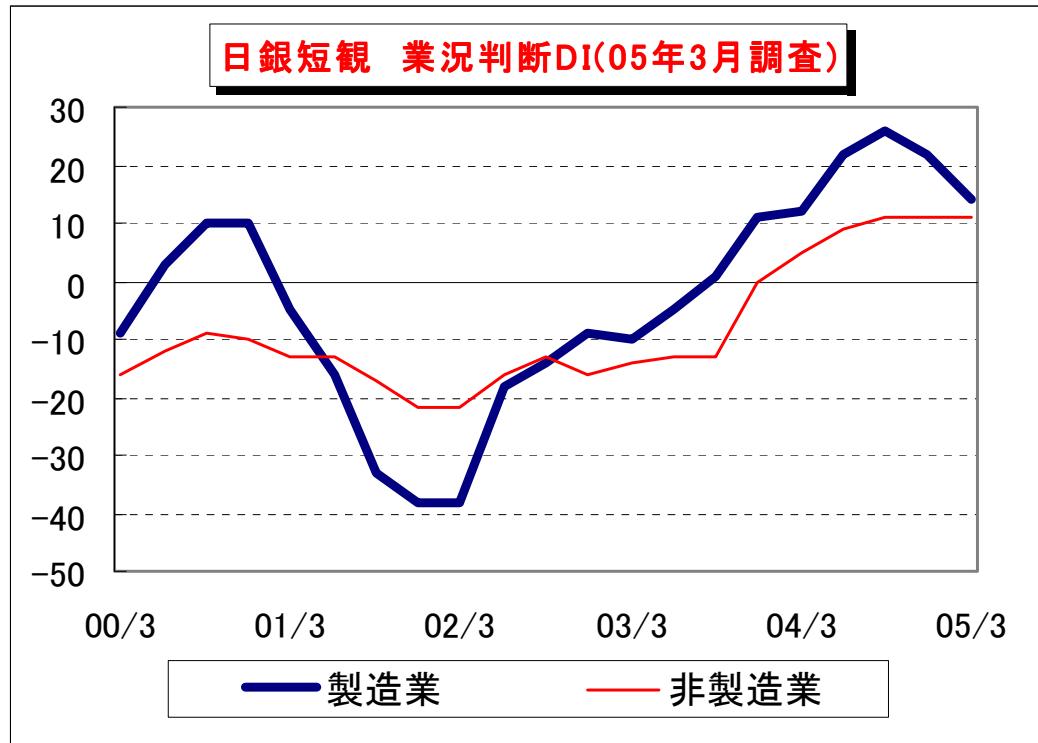
- 4月の米雇用統計(5月6日発表)では、非農業部門雇用者数の伸びが事前予想の17.5万人を上回り、27.4万人に達した。製造業が2カ月連続でマイナスとなったものの、非製造業が大幅に伸びた。一方、4月の人員削減予定数は5万7861人と前月比▲19.8%となり、雇用環境の改善が続いている。
- 4月の全体売上高は前月比+1.4%と5カ月連続で増加。また変動の大きい自動車を除くベースでも同+1.1%と伸びが加速した。非農業雇用者数、小売売上高とともに予想外の伸びとなつたことを受けて、米国の景気がソフトパッチ(軟弱局面)入りするとの懸念が緩和した。

国内の経済成長率：2四半期連続のプラス成長見通し



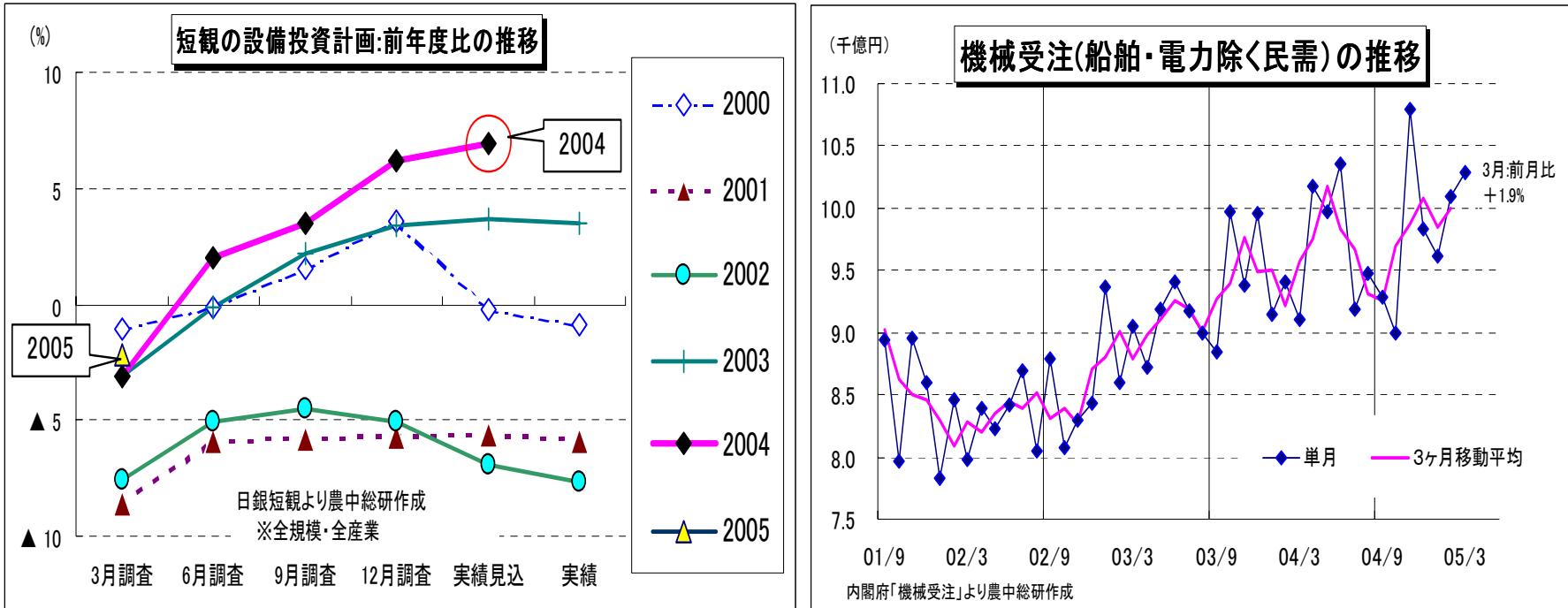
- 04年10～12月期の実質GDP成長率は前期比+0.1%（2次速報）と、3四半期ぶりに小幅なプラス成長となった。市場予想では1～3月期も同+0.6%と2四半期連続のプラス成長見通し。
- しかしながら、名目GDP実額の推移（棒グラフ）を見ると、03年1～3月期をボトムとして増勢に転じ、足下では「踊り場」の動きを示している。
- 一方、GDPデフレーターは、これまでの景気拡大に伴って縮小してきたマクロ的な需給ギャップの縮小を受けて、マイナス幅を縮小してきた。しかし10～12月期（前年同期比▲0.4%）については、公務員賞与の夏冬比率の配分変更といった一時的要因の影響が大きく、05年1～3月期にはその反動から下落幅を拡大させると見込まれる。

国内企業の景況感：2期連続で伸びが鈍化



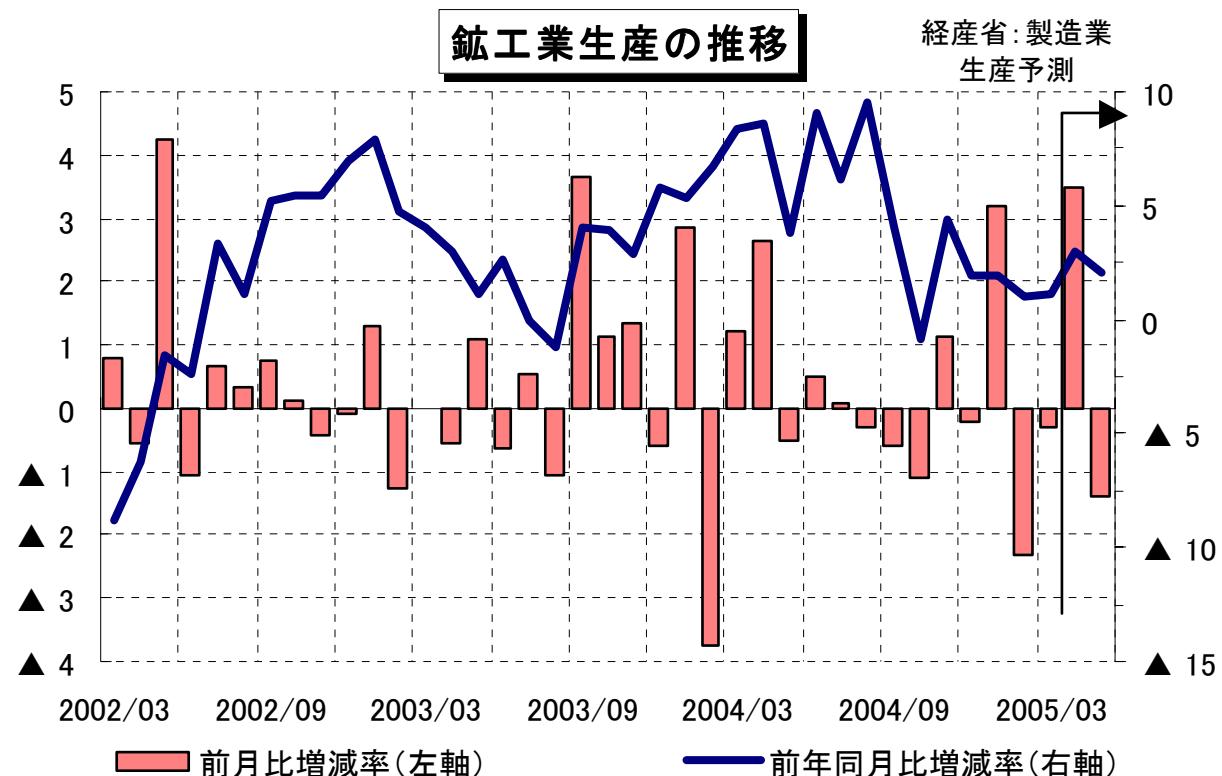
- ・ 業況判断DIは、大企業製造業で+14と、前回9月調査から8ポイント悪化。2期連続で前期を下回った。一方、大企業非製造業は+11と、前回調査と変わらなかった。
- ・ 原油価格の上昇が、企業センチメントに悪影響を及ぼした可能性が大きい。
- ・ 調査結果を受け、日銀は、「景気は引き続き踊り場的局面にあり、情勢判断と整合的なものだった」と評価。

国内の民間企業設備投資：調整局面が継続



- 3月調査の日銀「短期経済観測調査」(短観)の05年度設備投資(名目)計画は、前年度比▲2.2%と、3月調査としては2000年度に次ぐ小幅のマイナス。一方GDPの設備投資に当たる、ソフトウェアを含み土地を除く設備投資額は前年度比+1.1%の増加見通し。
- 一方、民間設備投資の先行指標である機械受注(船舶・電力を除いた民需)は、3月に前月比+1.9%と2ヶ月連続のプラスとなった。1~3月は前期比+0.7%となったものの、先行き4~6月は▲3.1%減少する見通しとなっており、調整局面が続く。今後の動向には注意が必要。

鉱工業生産①: 3月は低下、4月に上昇見込み

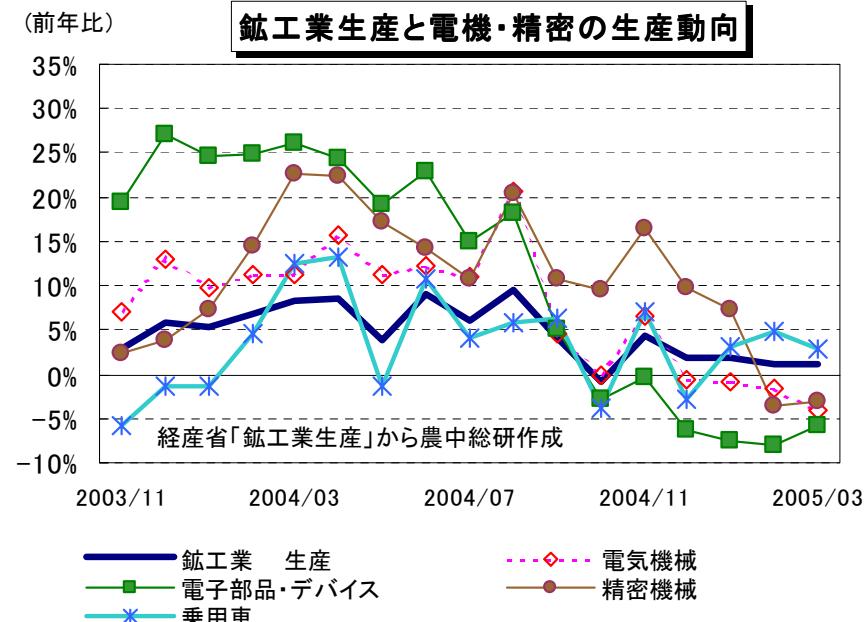
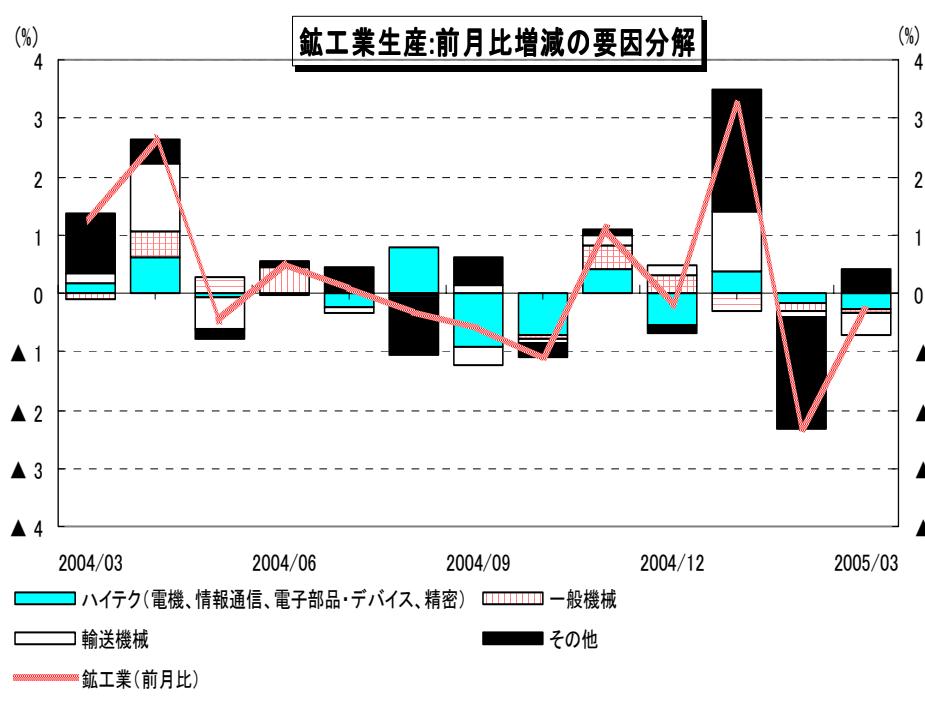


資料 経済産業省「鉱工業生産」

(注) 予測は、製造工業生産予測調査の当月見込みと翌月見込みの季節調整済増減率

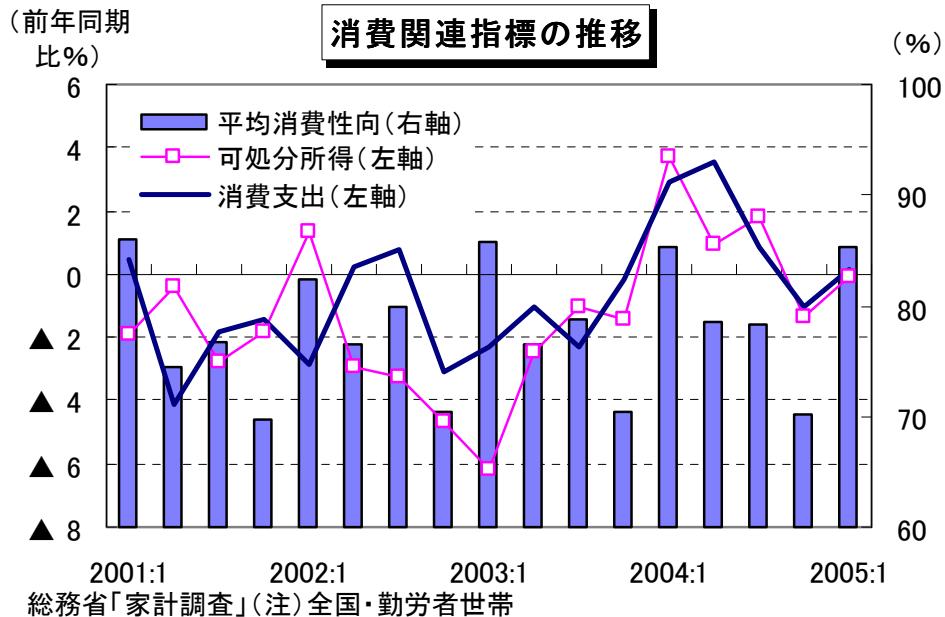
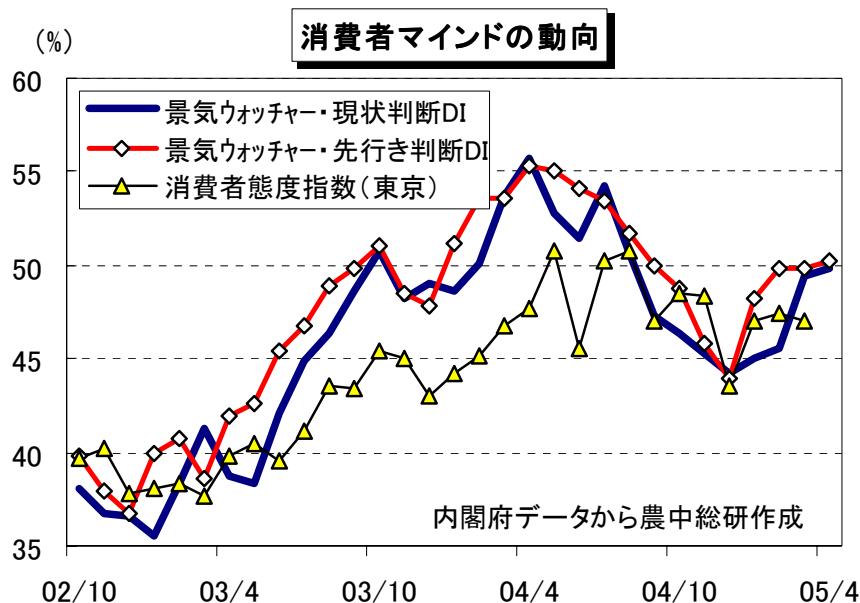
- 3月(速報)の鉱工業生産指数は前月比▲0.3%と、2ヶ月連続の低下。前年比では+1.1%と、5ヶ月連続でプラス。1~3月期は前期比+1.7%で、3四半期ぶりの上昇となった。ただし、中国の旧正月の影響で大幅上昇となった1月分を除けば、横ばい傾向で推移していると見られる。一方、製造業生産予測は4月に前月比+3.5%、5月は同▲1.4%の見通しとなっている。

鉱工業生産②: ハイテク関連での調整が続く



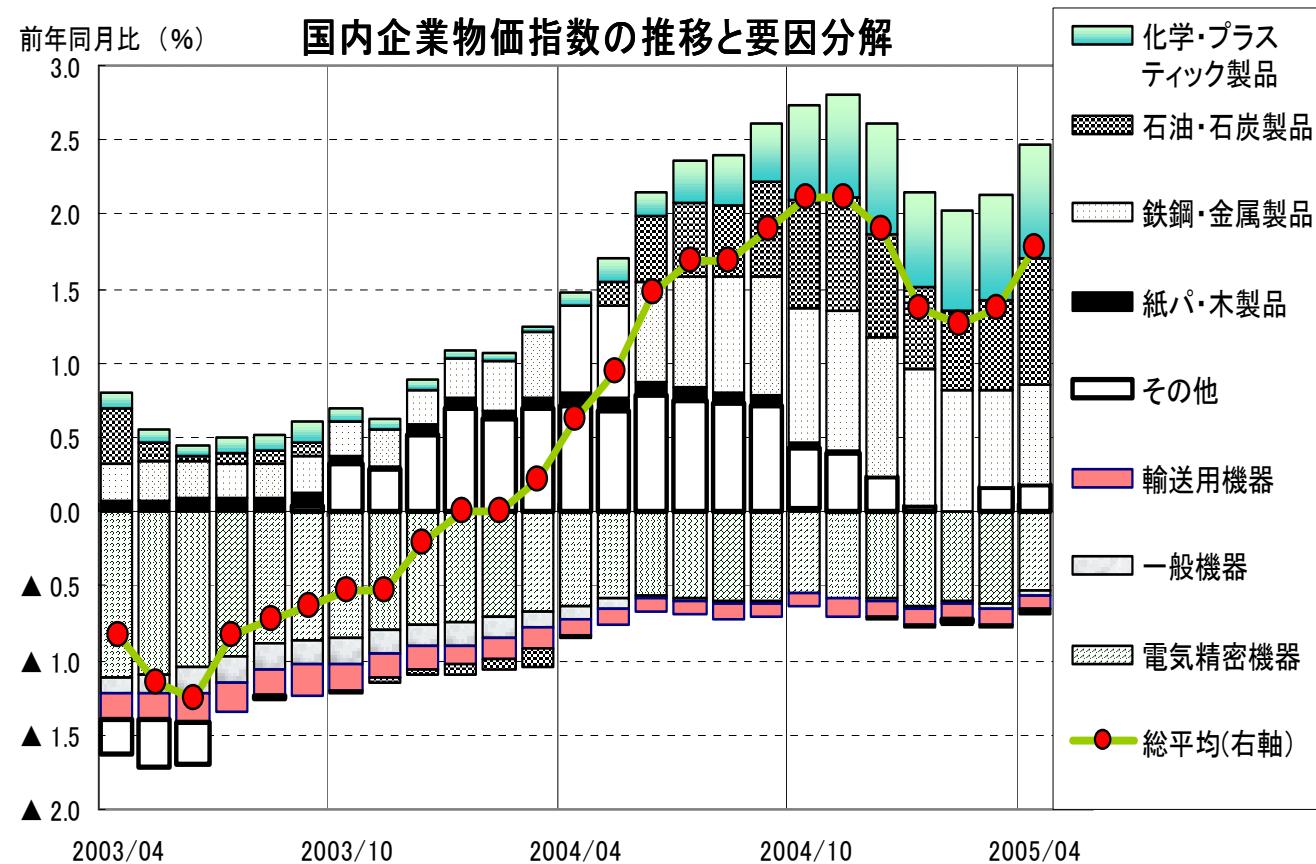
- 業種別の動向を見ると、電子部品・デバイス等ハイテク関連業種の生産が昨年9月以降減少。堅調な輸出や設備投資を背景に増加してきた生産に一服感がみられる。ただし、出荷増・在庫減の動きが観察される。
- 3月は、輸送機械、金属製品、情報通信機会、電気機械、化学、一般機械などで生産が減少。
- 先行きについては、ハイテク関連業種の生産・在庫調整が続いていることから、当面、生産の伸びは低くなると見込まれる。ただし在庫調整が完了すれば再び増勢に転じる可能性がある。

個人消費：先行きマインド回復



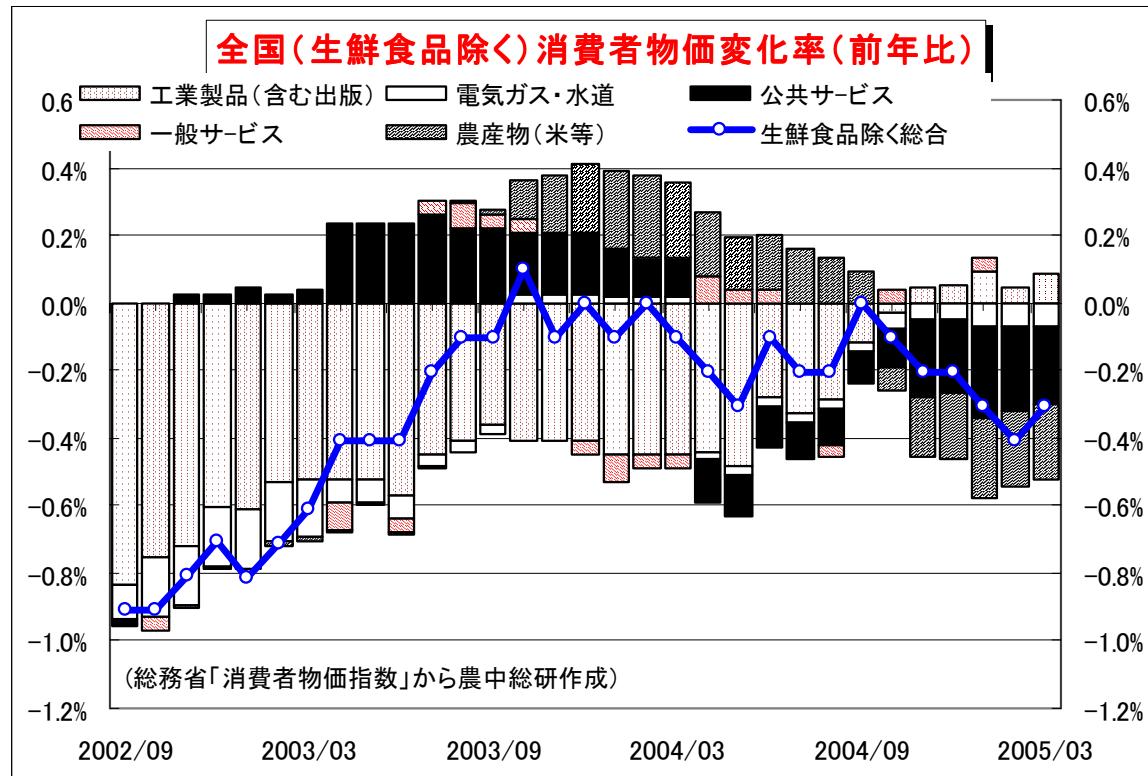
- 家計の消費意欲を示す3月の消費者態度指數(東京)は47.0と、前月比▲0.5ポイント低下。一方、4月の景気ウォッチャー・現状判断DIは49.8と、前月比0.3ポイント上昇。小売関連で春夏物にやや動きがみられたことから上昇した。また、先行き判断DIも上昇し、50.3(同+0.5ポイント)。
- 全国勤労者世帯の可処分所得は、04年以降、企業業績の改善を受け緩やかに改善してきたが、05年1~3月期は前年同期比▲0.1%と、2四半期連続のマイナスとなった。
- 厚生年金保険料・公務員共済掛金が昨年10月から引き上げとなつたことをはじめ、国民年金を含む年金保険料の引き上げ継続など、今後も社会保険料の増加が続く。さらに06年1月からの定率減税半減も控えており、負担増加の影響が懸念される。

企業物価：上昇幅の縮小傾向が反転、再び上昇へ



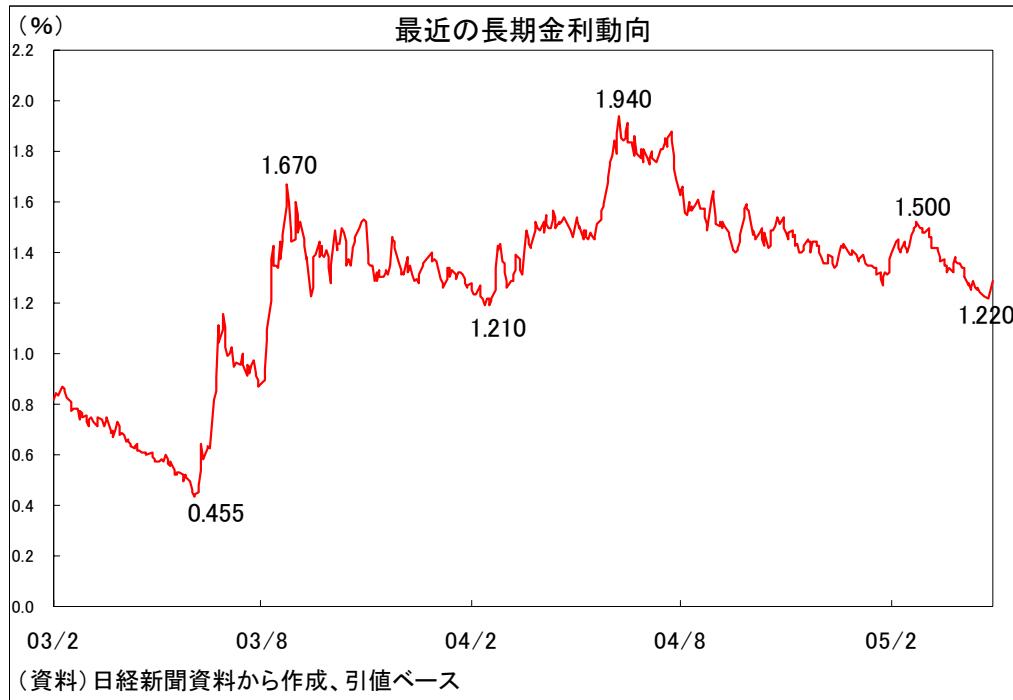
- 4月の国内企業物価は前月比+0.6%と3ヶ月連続で上昇。品目別では、特定規模需要電力の値下げにより電力・都市ガス・水道などが下落したが、石油・石炭製品や鉄鋼などが上昇した。
- また、前年比では+1.8%と2ヶ月連続で上昇幅が拡大。昨年11月をピークにした伸び率の縮小傾向が反転、再び上昇傾向にある。
- 中間財・最終需要財への価格転嫁の波及が活発になる可能性がある。

消費者物価：小幅下落が継続



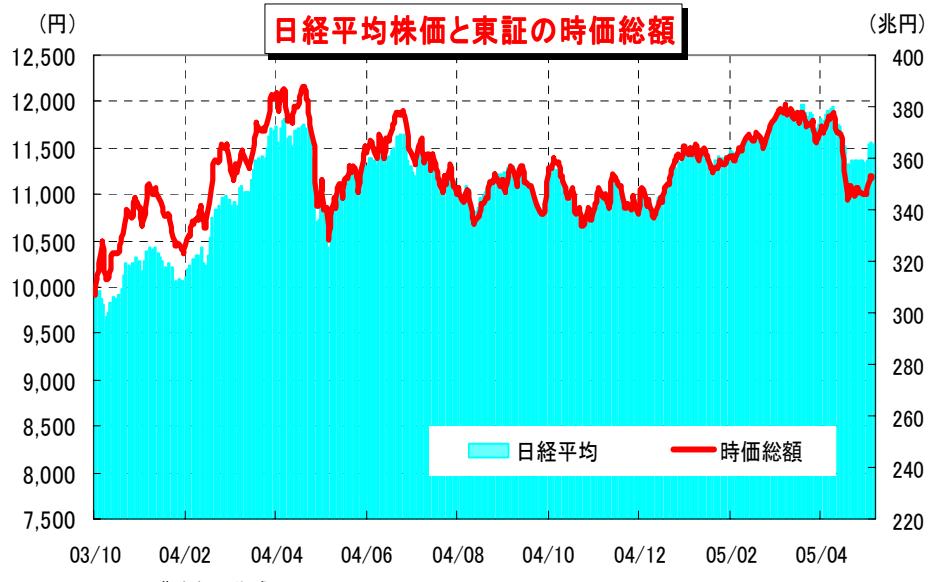
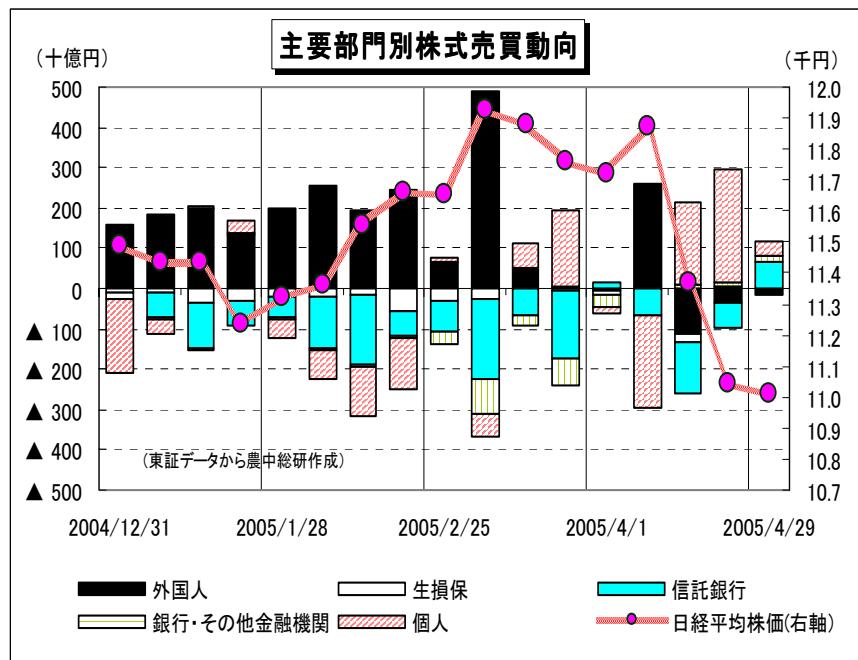
- 3月の消費者物価(除く生鮮食品)は前年比▲0.3%と、マイナス幅が縮小したが6ヶ月連続の低下となった。石油製品などが上昇したものの、①技術革新効果が大きい家電等耐久財、②小売段階の競合が大きい薬品・トイレタリー、③規制緩和分野の通信、電力、運賃などの下落要素が大きく、小幅な下落が続いている。なお米価による押し上げ分は昨年10月に剥落、以降マイナス要因に転じた。
- 当面、原油価格の高止まりに伴う価格転嫁が継続し、物価押し上げ要因となるものの、日銀の掲げたゼロ金利政策の解除条件である「消費者物価が安定的に0%以上で推移」に至ることは想定できず。

長期金利：新発10年国債利回り1.2%台に小幅低下



- 景気回復、株価上昇などによりデフレ脱却の時期が近づいたとの見方－現行の金融緩和政策の転換により、金利水準全体が上昇することが織り込まれ、04年の年央にかけて長期金利が上昇(債券価格下落)した。
- しかし、景気の先行き懸念から、消費者物価の小幅下落継続の観測が盛り返し、05年中のゼロ金利政策解除は困難との予想が強まり、長期金利は低下した(債券価格上昇)。
- 新発10年国債利回りは、世界的な株価上昇を受け3月上旬に1.5%台に一旦乗せたが、その後は再び低下し、足下では1.2%台で推移している。

株価：軟調な動き

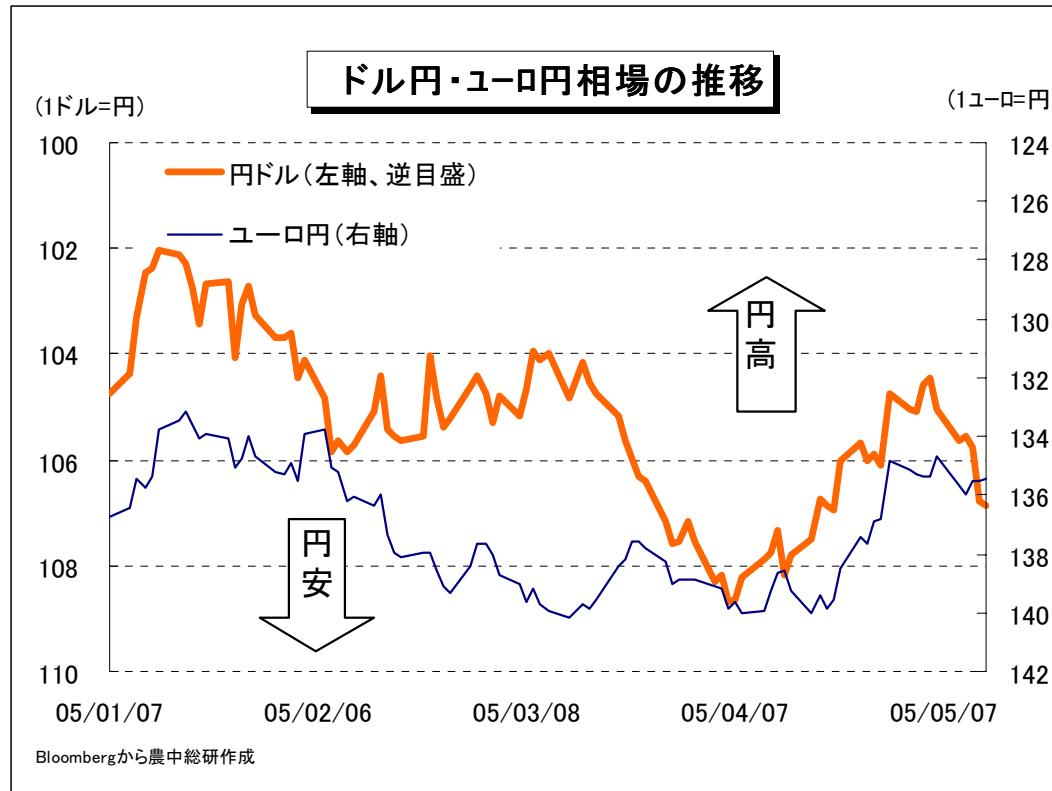


直近の時価総額	2005/5/9	前年度末比
バブル崩壊後最安値の時価総額	366.01	5.4

直近の時価総額	2005/5/9	前年度末比
バブル崩壊後最安値の時価総額	228.50	137.5

- 需給的には外国人による売買が株価に影響を与える傾向は変わらず、4月は2週目から3週連続して売り越しとなり株価が下落した。直近の時価総額は、最安値時に比べ137兆円増加し、366兆円(5月9日現在)となっている。
- 日経平均株価は、3月初旬に年初来高値となった後、4月中旬には米国株価の下落に加え中国での反日デモ等を背景に一時11,000円を割り込む場面もあり軟調な動きとなった。その後は小幅反発したものの、このところ軟調に推移している。

為替動向：円高方向が一服



- 4月初旬に米国のインフレ懸念から金利先高感が強まり、ドルが買い戻されたことから円安となり、円は一時109円台に迫った。
- しかし、その後は米国の景気減速懸念や中国人民元の切り上げ期待などから円高相場となった。足下では4月の米雇用者数が大幅増加したことなどから米景気の減速懸念が後退し円高が一服。
- ただし米国の「双子の赤字」問題から先行きはドル安に転じるとの見方もある。なお5月11日夕刻には人民元切り上げ誤報から円相場が一時急騰する場面があった。

政府、日銀の景気判断：回復基調が続く見通し

年月	政府月例報告		日銀金融経済月報	
2004年	4月	企業部門の改善に広がりがみられ、着実な回復を続けている	➡	緩やかな回復を続けており、 <u>国内需要も底堅さを増している</u>
	5月	企業部門の改善に広がりがみられ、着実な回復を続けている	➡	緩やかな回復を続けており、国内需要も底堅さを増している
	6月	企業部門の改善に広がりがみられ、着実な回復を続けている	➡	<u>回復を続けている</u>
	7月	企業部門の改善が家計部門に広がり見せ、堅調に回復を続けている	➡	回復を続けている
	8月	企業部門の改善が家計部門に広がり、堅調に回復している	➡	回復を続けている
	9月	堅調に回復している	➡	回復を続けている。なお原油価格の動向と、その内外経済への影響について留意
	10月	堅調に回復している	➡	回復を続けている
	11月	このところ一部に弱い動きはみられるが、回復が続いている	➡	輸出、生産の増勢に一服感がみられるものの、全体として回復を続けている
	12月	一部に弱い動きがみられ、このところ回復が緩やかになっている	➡	生産面などに弱めの動きがみられるものの、基調としては回復を続けている
2005年	1月	一部に弱い動きがみられ、このところ回復が緩やかになっている	➡	生産面などに弱めの動きがみられるものの、基調としては回復を続けている
	2月	一部に弱い動きがみられ、このところ回復が緩やかになっている	➡	生産面などに弱めの動きがみられるものの、基調としては回復を続けている
	3月	一部に弱い動きがみられ、このところ回復が緩やかになっている	➡	IT(情報技術)関連分野における調整の動きを伴いつつも、基調としては回復を続けている
	4月	一部に弱い動きが続いており、回復が緩やかになっている	➡	情報技術(IT)関連分野における調整の動きを伴いつつも、基調としては回復を続けている

- 政府は、4月の月例経済報告で、景気の基調判断を「一部に弱い動きがみられ、回復が緩やかになっている」と、4ヶ月連續で基調判断を据え置いた。先行きについては、「企業部門の好調さが持続していることから、回復は底堅く推移する」との認識。ただし、情報技術(IT)分野での在庫調整や原油価格の動向には留意が必要。
- また日銀も、4月の金融経済月報で景気判断を据え置いた。「IT(情報技術)関連分野における調整の動きを伴いつつも、基調としては回復を続けている」との認識。

今後の内外・中期スケジュール：

時期	区分	国 内		海 外
		政 治	経済・金融	
05年度 (H17)	4月～9月	年内 介護保険を見直し 4月 衆参統一補選 7月 東京都議選 9月 国連特別首脳会合	4月：ペイオフ解禁(除く決済性預貯金) 3～9月：愛知万博 4月 減損会計の強制適用スタート 4月：関西、中国、北陸、北海道電力が料金引き下げ 4月：雇用保険料の引き上げ(1.4%から1.6%) 4月：国民年金保険料の引き上げ(月額280円) 8月 つくばエクスプレス開業	4月 米国でG7 7月 英国でG8サミット 9月 G7 IMF・世銀総会
	10月～06年3月		10月 三菱東京とUFJが経営統合し「三菱UFJ」設立 10月末 TOPIX浮動株比率の段階的な調整開始 固定資産の減損会計完全実施(06年3月期から) 1月～定率減税(3.3兆円)の段階的な縮小・廃止を実施 デフレ脱却時期目標:05年度以降	秋頃 PS等次世代ゲーム機相次いで投入との観測 EU上場企業によるIASBの国際財務報告基準(IFRS)採用 12月 イラク正式政権の樹立(多国籍軍の駐留期限) 12月 東南アジア諸国連合(ASEAN)首脳会議 12月 第1回東アジア首脳会議 1月 米グリーンズパンFRB議長の任期切れ
06年度 (H18)		9月自民党総裁任期切れ	12月末 新BIS規制適用開始 (先進的手法については7年末から)	ロシアでG8サミット 06年中 Windows XP後継バージョンを市場投入 2月 イタリア・トリノ冬季五輪 ドイツでFIFAワールドカップ

内外金融市場データ:

日付	長期金利				短期金利				外国為替			内外株価指数			海外金利			その他				
	新発10年国債利回	債先10年物中心限月	みずほコボ新発5年金融債利回	金利スワップレート5年物(円~円)仲値	無担保コール翌日物	TIBORユーロ円3ヵ月	LIBOR円3ヵ月	TIBORユーロ円6ヵ月	金利先物(利回り)中心限月	円ドル・スポットレート東京17:00現在	ユーロ・ドル・スポットレート東京17:00現在	ユーロ円・スポットレート東京17:00現在	日経平均(225種)	TOPIX終値	NYダウ工業株30種平均	ナスダック総合	米国財務省証券10年物国債利回	LIBORドル3ヵ月	独国10年物国債利回	NY金先物・期近	WTI期近	OPECバスケット価格
05/03/21	休場	休場	休場	休場	休場	休場	0.054	休場	休場	休場	1.316	休場	休場	休場	10,565.39	2,007.51	4,523	3.05	3.731	431.40	56.62	51.76
05/03/22	1.420	138.30	0.696	0.690	0.001	0.0925	0.055	0.099	0.230	104.93	1.309	138.18	11,841.97	1,202.52	10,470.51	1,989.34	4,641	3.06	3.687	431.60	56.03	51.30
05/03/23	1.405	138.47	0.687	0.680	0.001	0.0925	0.055	0.099	0.230	105.43	1.299	137.86	11,739.12	1,193.85	10,456.02	1,990.22	4,584	3.09	3.738	425.40	53.81	49.09
05/03/24	1.385	138.74	0.668	0.660	0.001	0.0925	0.054	0.099	0.225	106.41	1.294	138.38	11,745.97	1,188.44	10,442.87	1,991.06	4,597	3.09	3.705	424.80	54.84	50.12
05/03/25	1.365	138.89	0.594	0.651	0.001	0.0925	休場	0.099	0.220	106.38	1.296	137.84	11,761.10	1,193.77	休場	休場	4,593	休場	3.710	休場	休場	休場
05/03/28	1.370	138.89	0.591	0.647	0.001	0.0925	休場	0.099	0.220	106.95	1.290	138.05	11,792.30	1,194.04	10,485.65	1,992.52	4,640	休場	3.711	426.00	54.05	49.26
05/03/29	1.350	139.19	0.633	0.630	0.002	0.0925	0.058	0.099	0.220	107.17	1.292	138.52	11,599.82	1,175.62	10,405.70	1,973.88	4,573	3.09	3.703	426.00	54.23	49.04
05/03/30	1.350	139.16	0.637	0.634	0.002	0.0833	0.053	0.099	0.215	107.27	1.292	139.12	11,565.88	1,169.11	10,540.93	2,005.67	4,546	3.10	3.672	426.90	53.99	48.80
05/03/31	1.320	139.41	0.564	0.619	0.022	0.0825	0.054	0.097	0.210	106.97	1.296	138.62	11,668.95	1,182.18	10,503.76	1,999.23	4,481	3.12	3.622	428.70	55.40	50.23
05/04/01	1.335	139.43	0.614	0.611	0.002	0.0792	0.054	0.097	0.200	107.27	1.291	139.17	11,723.63	1,186.50	10,404.30	1,984.81	4,447	3.12	3.613	425.90	57.27	51.65
05/04/04	1.325	139.49	0.617	0.601	0.002	0.0792	0.054	0.097	0.190	107.90	1.285	139.08	11,667.54	1,183.15	10,421.14	1,991.07	4,456	3.12	3.584	423.90	57.01	52.93
05/04/05	1.355	139.18	0.635	0.622	0.002	0.0792	0.054	0.097	0.190	108.85	1.287	139.43	11,774.31	1,189.79	10,458.46	1,999.32	4,468	3.12	3.597	424.50	56.04	52.27
05/04/06	1.385	139.09	0.650	0.636	0.002	0.0792	0.054	0.097	0.200	108.07	1.287	139.26	11,827.16	1,196.23	10,486.02	1,999.14	4,422	3.12	3.590	427.10	55.85	52.10
05/04/07	1.365	139.34	0.635	0.620	0.001	0.0792	0.054	0.097	0.200	108.25	1.286	140.01	11,810.99	1,196.83	10,546.32	2,018.79	4,480	3.13	3.549	426.50	54.11	51.85
05/04/08	1.360	139.32	0.643	0.623	0.001	0.0792	0.054	0.097	0.195	108.65	1.293	139.32	11,874.75	1,201.30	10,461.34	1,999.35	4,468	3.13	3.580	426.90	53.32	49.94
05/04/11	1.360	139.37	0.643	0.624	0.001	0.0792	0.054	0.097	0.195	108.11	1.297	139.88	11,745.64	1,190.12	10,448.56	1,992.12	4,428	3.14	3.557	428.60	53.71	49.14
05/04/12	1.340	139.53	0.629	0.610	0.001	0.0792	0.053	0.097	0.190	107.77	1.292	139.99	11,670.30	1,179.28	10,507.97	2,005.40	4,352	3.14	3.545	427.60	51.86	49.43
05/04/13	1.340	139.45	0.633	0.614	0.001	0.0792	0.052	0.097	0.185	107.27	1.292	138.91	11,637.52	1,176.39	10,403.93	1,974.37	4,360	3.14	3.513	429.30	50.22	47.84
05/04/14	1.340	139.53	0.624	0.609	0.001	0.0792	0.053	0.097	0.180	107.73	1.281	138.69	11,563.17	1,168.42	10,278.75	1,946.71	4,308	3.15	3.531	424.00	51.13	47.50
05/04/15	1.305	139.84	0.602	0.585	0.002	0.0792	0.053	0.097	0.165	108.31	1.292	139.01	11,370.69	1,150.67	10,087.51	1,908.15	4,241	3.15	3.491	424.90	50.49	47.08
05/04/18	1.270	140.17	0.579	0.563	0.001	0.0792	0.053	0.097	0.155	107.66	1.302	139.59	10,938.44	1,109.49	10,071.25	1,912.92	4,270	3.14	3.460	427.50	50.37	46.52
05/04/19	1.280	140.13	0.587	0.568	0.002	0.0792	0.053	0.097	0.155	107.08	1.306	139.56	11,065.86	1,126.71	10,127.41	1,932.36	4,211	3.15	3.443	432.90	52.29	47.71
05/04/20	1.255	140.44	0.581	0.545	0.002	0.0792	0.055	0.097	0.150	106.92	1.309	139.46	11,088.58	1,131.53	10,012.36	1,913.76	4,185	3.15	3.455	435.30	52.44	49.02
05/04/21	1.265	140.21	0.601	0.561	0.001	0.0792	0.054	0.097	0.155	106.97	1.305	139.87	10,984.39	1,123.32	10,218.60	1,962.41	4,294	3.16	3.486	433.00	54.20	N.A.
05/04/22	1.285	140.06	0.611	0.573	0.001	0.0792	0.054	0.097	0.155	106.52	1.307	139.20	11,045.95	1,130.89	10,157.71	1,932.19	4,245	3.17	3.469	434.30	55.39	50.61
05/04/25	1.260	140.26	0.593	0.556	0.002	0.0792	0.053	0.097	0.150	105.64	1.301	137.67	11,073.77	1,132.17	10,242.47	1,950.78	4,247	3.18	3.450	434.60	54.57	N.A.
05/04/26	1.250	140.36	0.582	0.545	0.001	0.0792	0.056	0.097	0.150	105.90	1.299	137.46	11,035.83	1,131.31	10,151.13	1,927.44	4,265	3.19	3.449	437.90	54.20	49.90
05/04/27	1.260	140.34	0.584	0.550	0.001	0.0800	0.054	0.097	0.150	106.19	1.293	137.27	11,005.42	1,130.30	10,198.80	1,930.43	4,223	3.19	3.413	433.00	51.61	48.88
05/04/28	1.240	140.51	0.572	0.540	0.001	0.0800	0.052	0.097	0.145	105.87	1.289	136.87	11,008.90	1,129.93	10,070.37	1,904.18	4,144	3.21	3.398	432.40	51.77	48.03
05/04/29	休場	休場	休場	休場	休場	0.052	休場	休場	休場	休場	1.287	休場	休場	休場	10,192.51	1,921.65	4,198	3.21	3.396	436.10	49.72	47.90
05/05/02	1.230	140.63	0.561	0.531	0.001	0.0800	休場	0.097	0.145	105.38	1.286	135.48	11,002.11	1,131.80	10,251.70	1,928.65	4,186	休場	3.399	430.50	50.92	47.79
05/05/03	休場	休場	休場	休場	休場	0.052	休場	休場	休場	休場	1.287	休場	休場	休場	10,256.95	1,933.07	4,164	3.22	3.378	427.70	49.50	47.40
05/05/04	休場	休場	休場	休場	休場	0.052	休場	休場	休場	休場	1.295	休場	休場	休場	10,384.64	1,962.23	4,186	3.22	3.416	430.00	50.13	N.A.
05/05/05	休場	休場	休場	休場	休場	0.053	休場	休場	休場	休場	1.296	休場	休場	休場	10,340.38	1,961.80	4,154	3.23	3.401	430.70	50.83	47.63
05/05/06	1.220	140.83	0.563	0.518	0.001	0.0800	0.054	0.097	0.140	104.75	1.282	135.64	11,192.17	1,150.76	10,345.40	1,967.35	4,258	3.23	3.445	426.90	50.96	47.92
05/05/09	1.285	140.24	0.606	0.563	0.001	0.0800	0.054	0.097	0.150	105.34	1.284	134.99	11,171.32	1,152.48	10,384.34	1,979.67	4,282	3.25	3.417	426.90	52.03	47.82
05/05/10	1.275	140.22	0.612	0.567	0.001	0.0800	0.055	0.097	0.155	105.84	1.288	135.75	11,159.46	1,149.58	10,281.11	1,962.77	4,200	3.25	3.360	427.90	52.07	48.16
05/05/11	1.275	140.42	0.602	0.550	0.002	0.0800	0.054	0.097	0.150	105.59	1.282	136.14	11,120.70	1,145.30	10,300.25	1,971.55	4,202	3.26	3.322	427.90	50.45	N.A.
05/05/12	1.285	140.46	0.602	0.548	0.001	0.0800	0.053	0.097	0.145	106.20	1.270	135.55	11,077.94	1,140.49	10,189.48	1,963.88	4,170	3.27	3.330	422.20	48.54	45.87
05/05/13	1.280	140.43	0.602	0.550	0.001	0.0800	0.055	0.097	0.145	107.32	1.263	135.58	11,049.11	1,134.82	10,140.12	1,976.78	4,117	3.27	3.307	420.70	48.67	N.A.



農林中金総合研究所

無断転載を禁ず。本資料は情報提供のみを目的に作成されたものです。投資のご判断等はご自身の責任で御願いいたします。

©2003 Norinchukin Research Institute Co.,Ltd

〒100-0004 東京都千代田区大手町1-8-3

(株)農林中金総合研究所 調査第2部

TEL03-3243-7366